電卓の練習

目的

秋田高専電気情報工学科で使用している電卓（SHARP製　EL-566E）の使い方について練習します。

EL-566Eは多機能な関数電卓です。その全ての機能を使いこなすことは大変ですが、実験実習や講義で使う機能については利用できるようにしましょう。こちらでよく使われそうな機能をピックアップしました。利用方法の詳細については各項目について取扱説明書のページ番号も載せておいたので、参考にしてください。比較的わかりやすい説明書です。

この練習以降については時間を取って説明する予定はありません。各講義・実験実習で必要となった機能については取扱説明書を読んで各自で習得できるよう、努力していきましょう。

		結果の表示
①一文字消去して入力 p.14		
956+369	(1) [1▷] で「◀」を移動、「+」に一致させる	1325
↓		
956−369	(2) [DEL] を押して「+」を消去	587
	(3) [−] を押して [＝] を押す	
②負数の入力 p.17		
$2\times(-5)$	2 [×] [+/−] 5 [＝]	−10
③()付き計算 p.19		
$2\times(9-5)$	2 [×] [(] 9 [−] 5 [)] [＝]	8
④指数の入力 p.23		
$1.23\times10^{5}\div1.23\times10^{-5}$	1.23 [Exp] 5 [÷] 1.23 [Exp] [+/−] 5 [＝]	1×10^{10}
⑤べき乗の入力 p.64		
3^{3}	3 [y^x] 3 [＝]	27
$3^{1/3}$	3 [y^x] [(] 1 [÷] 3 [)] [＝]	1.442…
⑥常用対数の入力 p.47		
$a^b=C$のときに「指数bはaを底とするcの対数である」といって、$b=\log_a c$と表します。		
とくに底が10の対数は「常用対数」といって、aを省略し、log cで表します。		
$\log_{10}5$	[log] 5 [＝]	0.698…
⑦三角関数、逆三角関数の入力 p.52		
基本的には60分法（° ）で表示しています。		
sin90°	[sin] 90 [＝]	1
cos90°	[cos] 90 [＝]	0
「逆三角関数」とは$\sin^{-1}$ などと表し、例えばsin a = bのときは$\sin^{-1}$ b = aが成り立つ関係にあります。$\sin^{-1}$はarcsinと同じです。		
$\sin^{-1}1$	[2ndF] [sin] 1 [＝]	90
$\cos^{-1}0$	[2ndF] [cos] 0 [＝]	90
⑧角度単位変換 p.55		
60分法の値から弧度法の値に変える		
180° → 3.14…	180 [2ndF] [π]	3.14…
	この操作でディスプレイ上段の「DEG」の表示が「RAD」に変わったことを確認します。	
	この入力 [2ndF] [π] を繰り返すことで「DEG」→「RAD」→「GRAD」と変更されます	
$\sin(\pi/2)$	(1) [2ndF] [π] を入力して弧度法の表示に変える	
	(2) [sin] [(] [π] [÷] 2 [)] [＝]	1
⑨指数表示への変換 p.26		
1000×36464の結果を有効桁数3桁で指数表示する		
	(1) 1000 [×] 36464 [＝]	36464000
	(2) [FSE] [1] [3] ← 桁数の指定	3.65×10^{07}
	↑ 指数方式の指定（カード確認）	
	元の表示に戻すには [FSE] [3]	